

一〇、猪苗代湖

耶麻、北會津、安積三郡交界の處に在り、周回十七里、東西二里餘、南北三里餘、萬山環立、澄波晶然として鏡を磨し、磐梯の高峯亦突兀として雲表に聳え、山紫水明、晴好雨奇、變態一ならず、實に勝區たり。又湖上八景の勝あり。曰く、觀音寺の夜雨、東山の秋月、翁島の暮雪、遠田の落雁、磐梯の晴嵐、立岩の夕照、笹山の歸帆、本寺の晚鐘。是れなり。盛夏の候一たび熱圍の地を去りて湖畔に逍遙せば、山水爲めに迎ふるか如く、湖上の涼風颯として袂を拂ひ、悠悠自適、復た去る能はさらしむ。近者夏秋の交、内外士人の避暑觀光の爲め來遊する者亦尠なからず。



一一、龜ヶ城址の眺望

(猪苗代縣の北凡十五町)

耶麻郡猪苗代町に在り後を仰けは磐岳の峻峯之れを擁し前を望めは青松白沙の間猪湖の風光を擅にし遙に翁島なる有栖川宮殿下御別邸と相對す其の幽邃の境たる亦湖畔に於ける一勝區と爲す

昔者葦名氏の將猪苗代盛國之に居り天正十七年盛國其主葦名義廣に叛き伊達政宗を助け葦名氏爲めに亡ふ後蒲生、上杉、加藤の諸氏更々之れを領し寛永二十年保科正之會津に封せられし以來世世城代を置き之れを守らしむ



一二、有栖川宮威仁親王殿下御別邸（霧島驛の西凡一里）

耶麻郡霧島村に設けらる地隆然として高く仰けは磐
峯高く雲際に聳えて湖心に對し俯すれば猪湖の風光
指呼の裡に入り眺望絶佳の境たり 殿下には本年八
月十七日を以て同邸に成らせられ夏暑を避けさせ賜
ひ這般 皇太子殿下東北行啓に際し同邸に御成數日
間御滯泊湖畔の風景を愛てさせ給ふ



一三、若 松 市

戸數五千三百十一、人口三萬四千有餘、郡役所、稅務署、警察署、監獄分監、地方裁判所支部、區裁判所、縣立中學校、縣立工業學校等あり、今茲新たに歩兵第六十五聯隊を置かる市の前途益賑殷の狀況にあり



一四、鶴ヶ城址

〔若松驛の南凡半里〕

若松市の東南端に在り濠外周回二十町東西六町南北四町餘昔者源右府頼朝佐原義連を會津に封ず三世の孫光盛姓を華名と改む至徳元年光盛五世の孫直盛始めて此に城き鶴ヶ城と稱し世世之に居る後蒲生、上杉、加藤の諸氏更々之を領し寛永二十年保科正之此に封せらる戊辰の役正之九世の孫容保一國の兵を擧げて孤城を固守し天下の大軍に抗すること三十日遂に支ふること能はすして城を開く今城址の一部を同地縣立會津中學校運動場に充て歩兵第六十五聯隊亦遺址を利用して演習を試むる所あり



一五、歩兵第六十五聯隊兵營（若松驛の南凡半里）

若松市に在り鶴ヶ城と相對す戰後軍備擴張の結果此地を相して衛戍地と定め新設せられたる聯隊なり隊の壯丁は若松市外十二郡より徵集するものにして悉く縣下の壯丁より成る明治四十一年六月兵舎半工成るを告げ茲に始めて兵を收容するに至れり陸軍歩兵大佐飯島龜聯隊に長たり



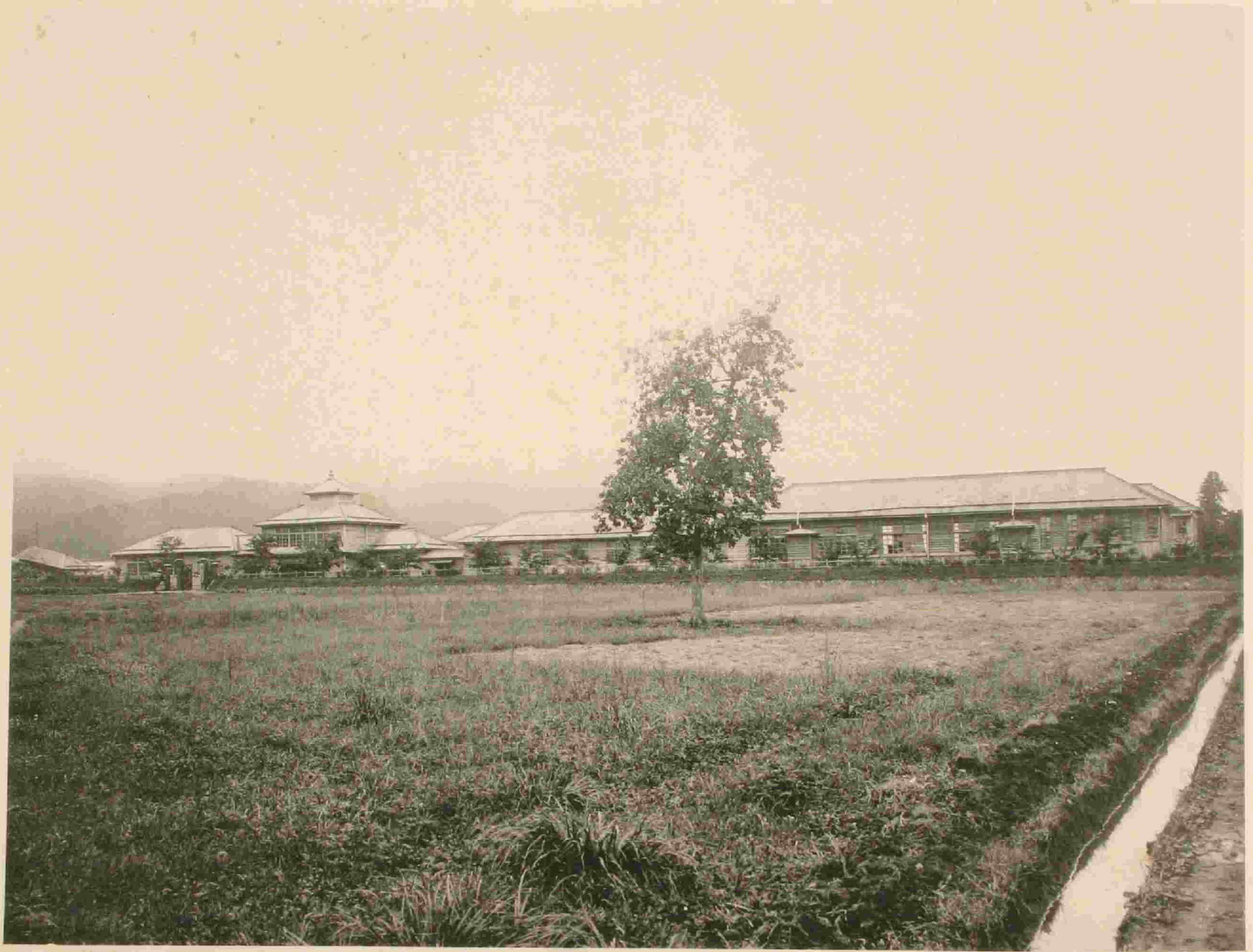
一六、福島縣立會津中學校 （若松驛の南凡半里）

若松市榮町に在り明治二十三年地方有志者の協力に
依り私立として設立し明治二十四年縣立同等の資格
を得明治三十四年縣立となる生徒定員六百人を有す
而して本校は創立の際畏くも 恩賜金下賜の光榮を
得たり



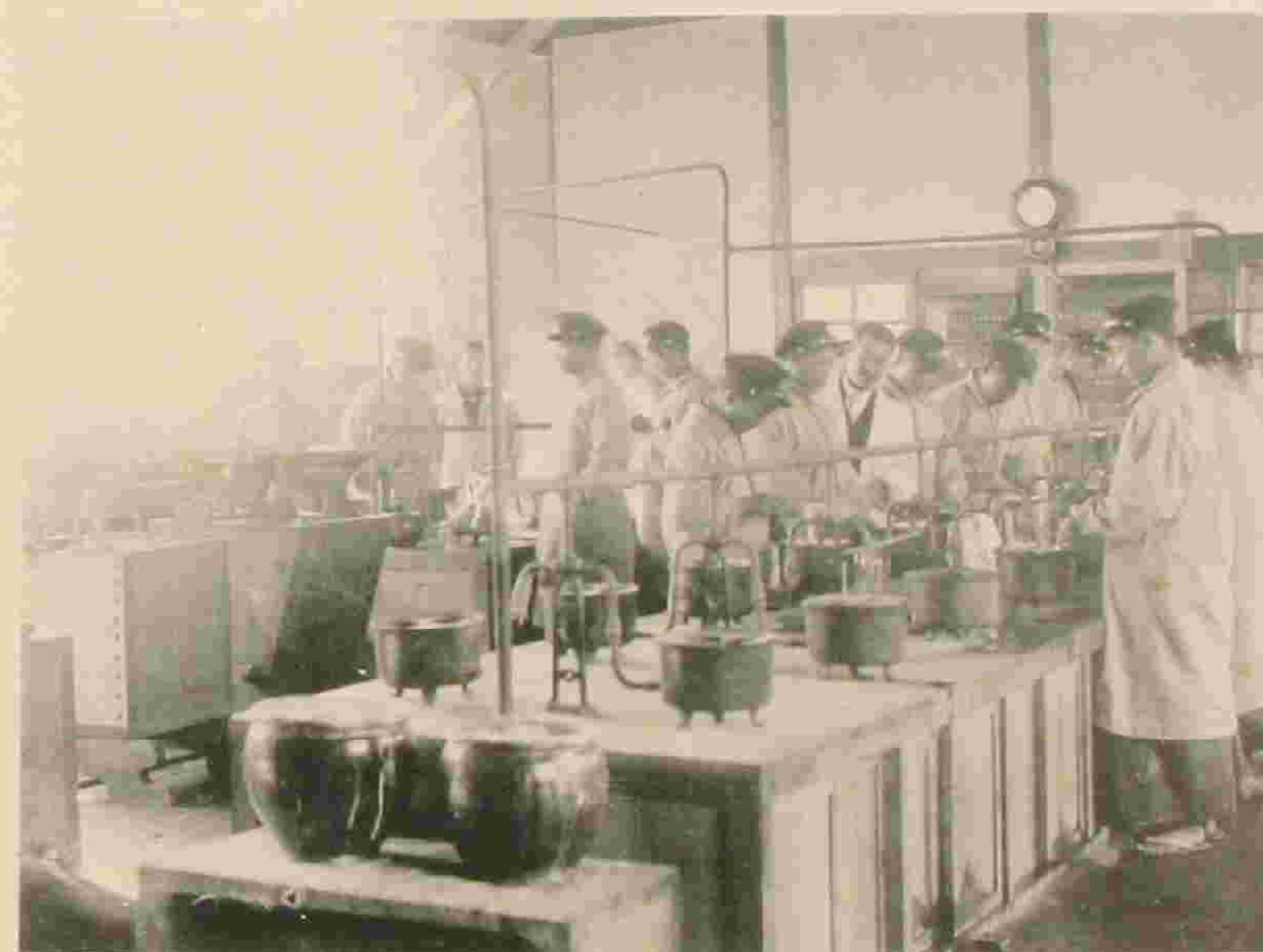
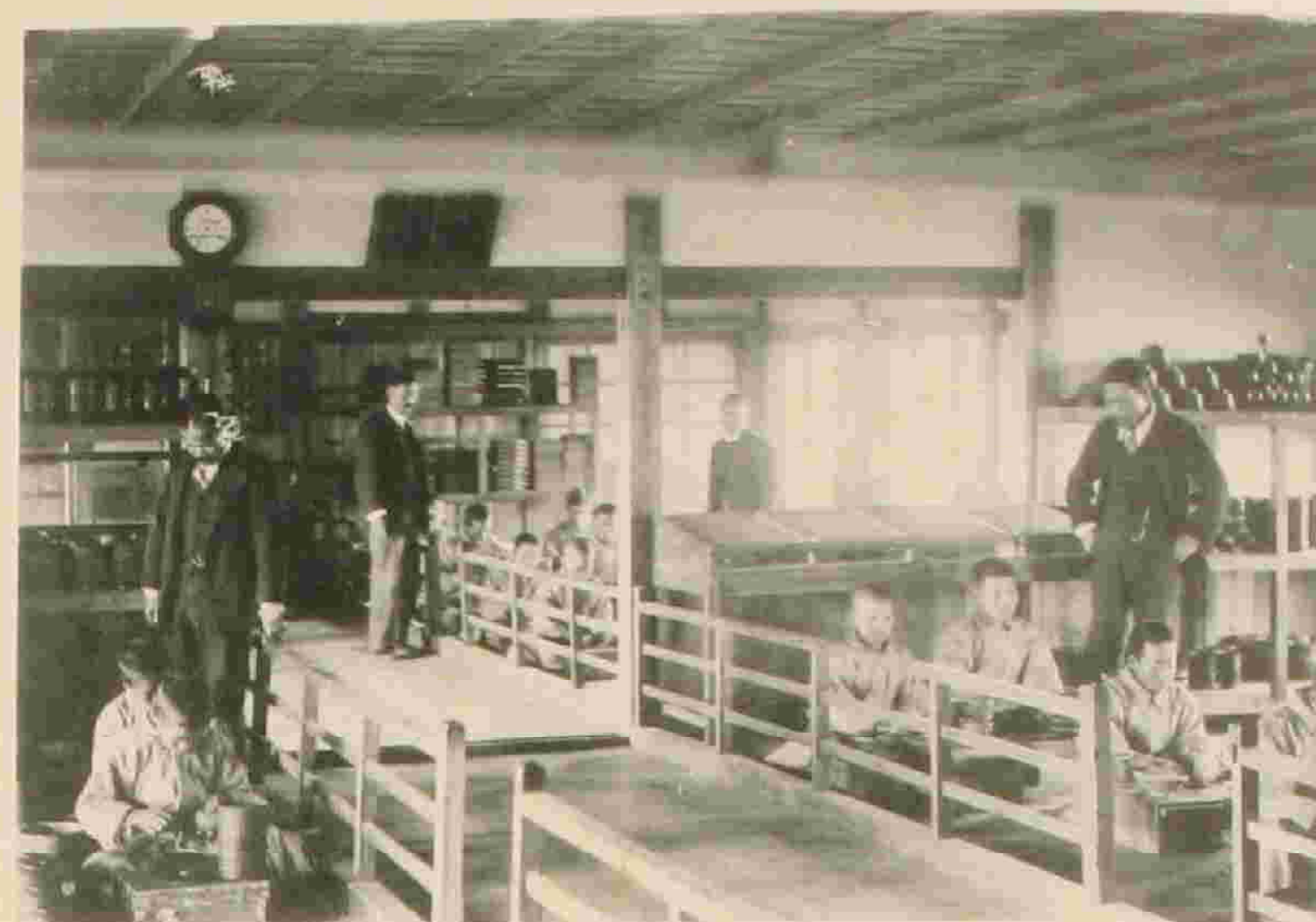
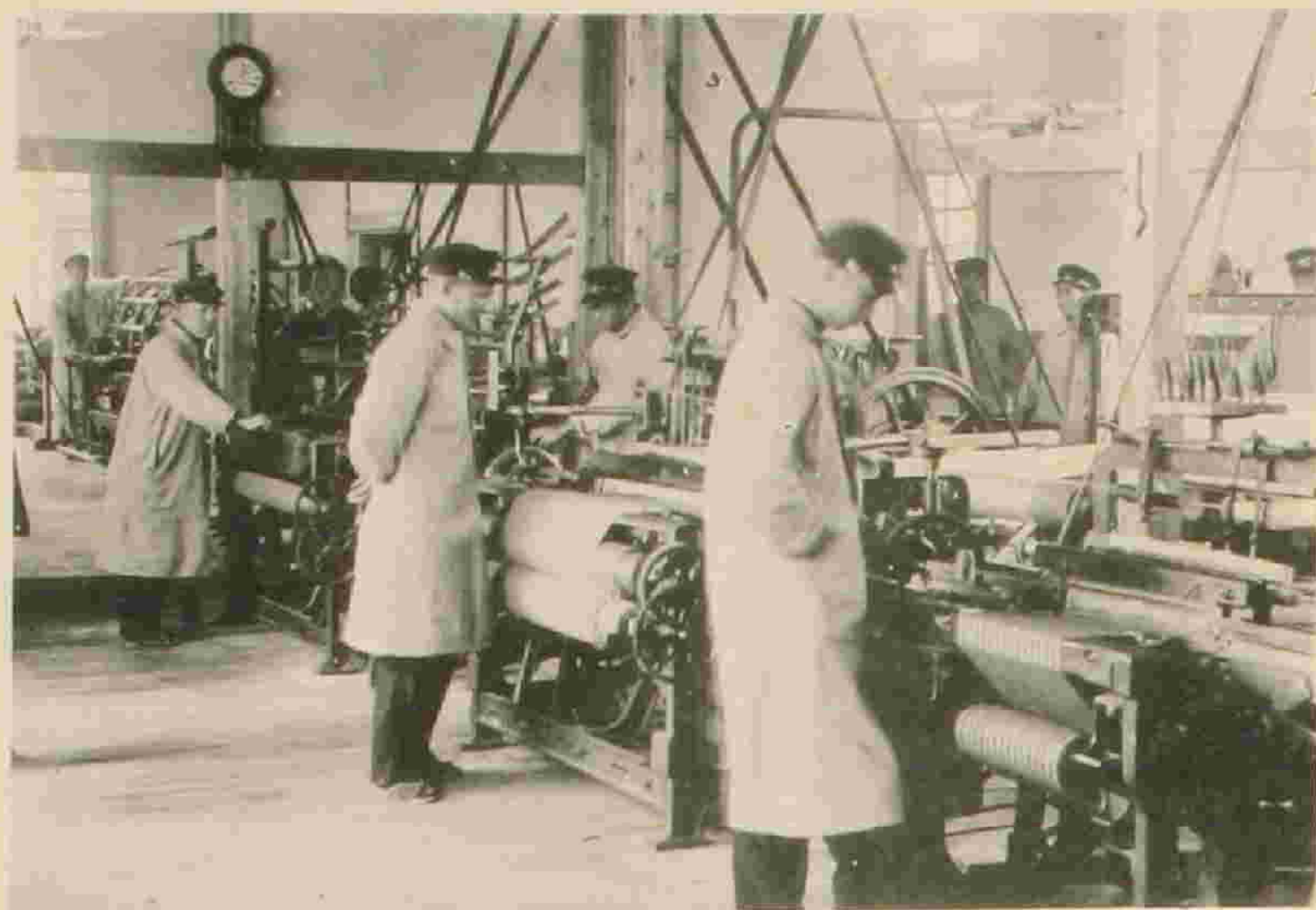
一七、福島縣立工業學校 (若松縣の南凡半里) (其一)

若松市榮町に在り明治三十七年の設立にして染織、漆工、窯業の三科を置く生徒定員は各科各々六十人、修業年限各三ヶ年外に別科、補習科等を置く



一八、福嶋縣立工業學校 (其二)

本校生徒が今其實修室に於て漆工科塗物、窯業科轆轤、
染織科色染及機織の實習を爲し居るの光景なり



一九、白虎隊十九士墓

（若松縣の東凡中里）

北會津郡一箕村大字八幡飯盛山に在り戊辰の役白虎隊井深茂太郎以下十有九人慷慨耦刺して國難に殉したる所にして一望すれば會津の平野を一眸の裡に收め鶴ヶ城山下に見ゆ瀧坂の一戰十九人敗走して飯盛山に退く會々城中を望めは官軍肉薄砲聲地を撼かし煙熾天に漲る以爲らく事已に爲すへからずと遂に自及して死す事は明治元年八月二十三日にあり



二〇、東山温泉

(若松の東凡一里)

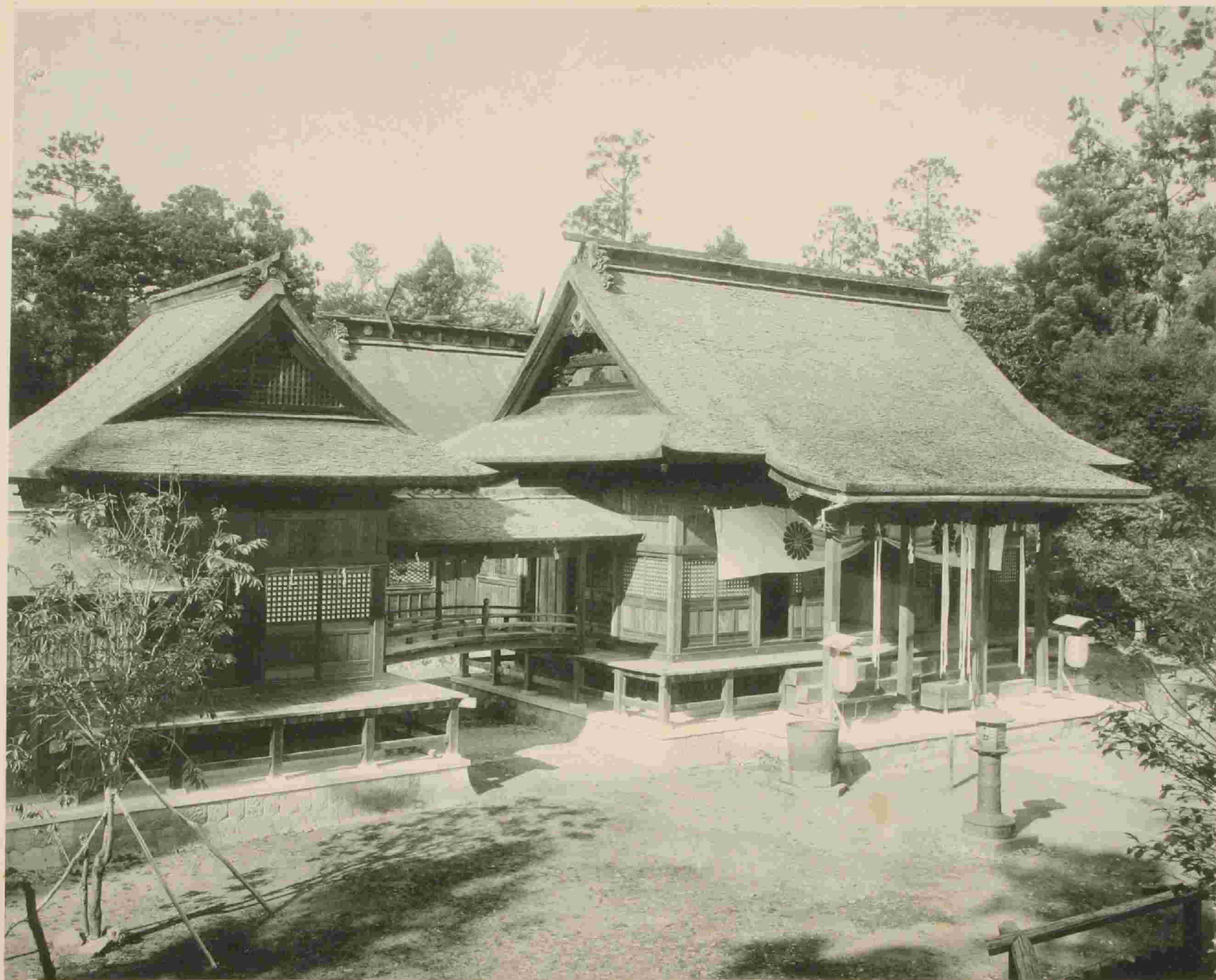
北會津郡東山村大字湯本に在り舊天寧寺温泉と稱す
地勢峯巒屹峙し一水其の間を流る湯川と稱す岸に觸
れ石に激し處處飛瀑を爲す層樓高閣崖に倚り溪に臨
み亦一方の勝區たり浴場十有數ヶ所泉質弱鹽類を含
み無色透明にして臭氣なく徹しく鹹味を帶ふ浴客歲
に參萬人内外なりと云ふ



二一、國幣中社伊佐須美神社

(若松驛の四凡三里)

大沼郡高田町に在り祭神は伊弉諾伊弉冊の二尊を祀
る明治六年今の社格に列せらる



一二、柳 津

（若松驛の西凡六里）

河沼郡柳津村に在り一水西より流れ只見川と云ふ奇巖怪石兩岸に聳え風景秀絶なるを以て知らる堂あり古來の名刹にして俗に柳津虚空藏と云ふ本尊佛福満虚空藏菩薩を安置す弘法大師の作なりと云ふ本堂は川流に臨み丘阜上に在り巖下深潭あり青碧底なりか如し試みに餌を投すれば群魚潑刺食を爭ふ其狀人をして覺えす快哉を叫はしむ

